

地域のごとを皆で

考えるまち



地区の福祉団体（地区社協）と福祉委員との顔合わせの様子



みんなが地域の課題や問題を考えている様子



と今後の地域福祉の担い手として「社会福祉推進委員（以下福祉委員）」を設置させていただきます。福祉委員は地域や個人等の困りごとを発見し、区長さん、民生委員さん、市社協等へその情報をつなぐためのボランティアさんです。



匝瑳市協では平成27年度から地域住民のご協力も

社会福祉推進委員の役割

～安心して暮らせるまちへの一歩～

福祉委員による地域の困りごとを発見するための具体的な活動は、①地区の福祉団体（地区社協）の運営に協力し、高齢者への介護教室やお茶飲み会、子どもとの世代間交流行事等を発案、参加する。②災害時要援護者台帳及びマップの整備活動（災害時・平時から見守りが必要な方を調査、登録していただきます）に協力することにより、地域の方々



高齢者の介護教室の様子

と接する機会ができません。③要援護者への定期的な見守りを行うことにより、より細かく切実な個人

の困りごとを耳にする事が出来る。①～③の活動を経て得られる情報はとても多く、福祉委員さん



皆で集まることも見守りの1つ

けで抱えていることは非常に大変なことです。そこで、その情報を④区長さん又は民生委員さん、匝瑳市社協等と共有し、地域全体で困りごとを解決するためには、どうしたら良いか考えることがとても重要になります。地区社協から協力のご依頼があった際は是非一緒に考えて考え、福祉委員にご参加いただければ幸いです。

社会福祉推進委員設置の状況

～研修会を通して～

平成27年度からスタートします「福祉委員」活動ですが、活動に先駆けて2月1日に福祉委員研修会を実施しました。

研修会には八日市場地区（旧中央地区）、須賀地区、匝瑳地区、飯高地区、共興地区の5地区の約50名の方が参加されました。内容としては、まず始めに市社協から福祉委員の役割について説明を行い、次に



講師の木下氏

福祉委員の必要性を埼玉県立大学准教授の木下氏に国の動向を交えながら講演いただきました。最後に各地区に分かれて地域の課題や問題を話し合っ頂ぎ、意見の中に「女性のいない世代が多い」、「若い世代の人が市外に移ってしまう」、「未婚の方が増えている」、「高齢者同士の集まりの場が少ない」、「買い物することが不便」等の多くの課題が話し合われました。今後、これらの課題に対して地区社協と福祉委員の方々、市社協等と匝瑳市民の方々が地域の事を考え、意見を言えるルールづくりを進めていきたいと思っております。また、これらの活動を市民の皆様にも知って頂けるよう取り組んでまいります。



